

教育・研究などへの取組状況(令和6年度)

総合工学システム学科	系・コース
	一般科目系
職階	氏名
教授	西野 達雄

項目	取組状況
教 育	<p>◆ 担当科目</p> <p>英語表現 1、英語表現 3、英語応用演習 I</p> <p>◆ 担当科目の取組状況(工夫・改善した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語表現 1 では、ペアワークは従来から取り入れているが、今年度はグループワークを追加した。ペアでは相手との相性が良くないと活動が成立しにくいこともあるが、4人程度のグループで活動させると様々な学生が話し相手になるので活動に大きな支障をきたすことが少なくなったように感じられる。論理表現テキストと文法ワークを併用することには肯定的な感想が多かったが、自分で勉強する際にワークの答えが手元にあると助かるという意見が多かった。 ・英語表現 3 では、クラスを2つ(P クラス:Presentation クラス、C クラス:Communication クラス)に分け、少人数によるアウトプット活動ができるようにした。担当した C クラスでは、基本的には 2 時間 all English で授業を実施した。英語がたくさん話せて良かったという感想が多かった。 ・英語応用演習 I では、昨今注目されており、大阪万博のテーマにもなっている SDGs をテーマにしたテキストを使用するとともに、自学教材として TOEIC 学習にも対応するオンライン英語学習教材(reallyenglish)を導入した。もう一つの柱とするプレゼンテーションは、SDGsを題材に、前期はスライド、後期はポスターによる発表を課した。
研 究	<p>◆ 研究テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生成 AI が英語学習や英語学習者に与える影響に関心がある。ChatGPT や Grammarly 等を教材研究や授業準備に利用しながら、その功罪について考えるとともに、生成 AI と上手に付き合う方法を見出したいと考えている。
社会貢献	<p>◆ 学協会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国高等専門学校英語教育学会会員 ・中国地区英語教育学会会員 ・外国語教育メディア学会会員 ・実用英語技能検定面接委員

教育・研究などへの取組状況(令和5年度)

総合工学システム学科	系・コース
	一般科目系
職階	氏名
教授	西野 達雄

項目	取組状況
教 育	<p>◆ 担当科目 英語表現1、英語IV、特別研究</p> <p>◆ 担当科目の取組状況(工夫・改善した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語表現1では板書をできるだけ控え、必要な情報提示はできるだけパワーポイントを使用して行った。板書よりも見やすく、Google Classroom 等で配信もできるので学生に好評だった。授業評価アンケートでは、ペアワークなどの活動が多かったのも、授業を楽しく受けることができた／英語を使う場面が多かったのも実践的な練習になった／文法等の説明が丁寧でわかりやすかった、等の好意的な意見が多い一方で、進度がやや早い／文法の説明をもっと詳しくしてほしい、のような改善点の指摘もあった。 ・英語IVではタイムリーな話題として SDGs を扱った教材を選定した。ビデオによるリスニング教材が好評であった。授業評価アンケートでは、読解のみならず、聞き取りや会話の練習もできた／授業資料の配信があったので復習できた／SDGsの勉強になった、等の好意的な評価がある一方で、小テストが難しすぎる／TOEIC Bridgeの足切り点が高すぎる、のような改善すべき点の指摘もあった。 ・特別研究は引き続き、「理想の〇〇を考える」をテーマに行った。
研 究	<p>◆ 研究テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生成 AI が英語学習や英語学習者に与える影響に関心があり、Chat GPT や Grammarly 等を試用するとともに、関連する文献やサイト等で情報を収集している。
社会貢献	<p>◆ 学協会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国高等専門学校英語教育学会会員 ・中国地区英語教育学会会員 ・外国語教育メディア学会会員 ・実用英語技能検定面接委員

教育・研究などへの取組状況(令和4年度)

総合工学システム学科	系・コース
	一般科目系
職階	氏名
教授	西野 達雄

項目	取組状況
教 育	<p>◆ 担当科目 英語表現Ⅱ、英語表現Ⅲ、英語演習 B、特別研究</p> <p>◆ 担当科目の取組状況(工夫・改善した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語表現Ⅱでは文法問題演習に Google フォームを活用した。学生は自分のペースで解答および正解の確認ができ、教員は学生個々の学習進捗状況や理解度の確認をしやすくなった。このやり方は授業評価アンケートでもたいへん良かったとの反応が多かった。 ・英語表現Ⅲではプレゼンテーション原稿の作成に Google ドキュメントを使用したので、添削やコメントなどの個別指導を効果的に行うことができた。Google フォームを使った問題演習はおおむね好評だったが、試験前に全体を見直すにはやや不便であることが判明した。 ・英語演習 B では米国で制作されている高校生向けニュース番組(CNN10)を素材としたテキストを使用した中・上級者向けの英語聴解・読解演習を行った。ややハードルが高いと感じた学生もいたようだが、多くの学生からリスニング力がついた、TOEIC のスコアがアップしたという声が聞かれた。 ・特別研究は引き続き、「理想の〇〇を考える」をテーマに行った。
研 究	<p>特記事項なし</p>
社会貢献	<p>◆ 学協会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国高等専門学校英語教育学会会員 ・中国地区英語教育学会会員 ・外国語教育メディア学会会員 ・実用英語技能検定面接委員